

ぐんまの温泉



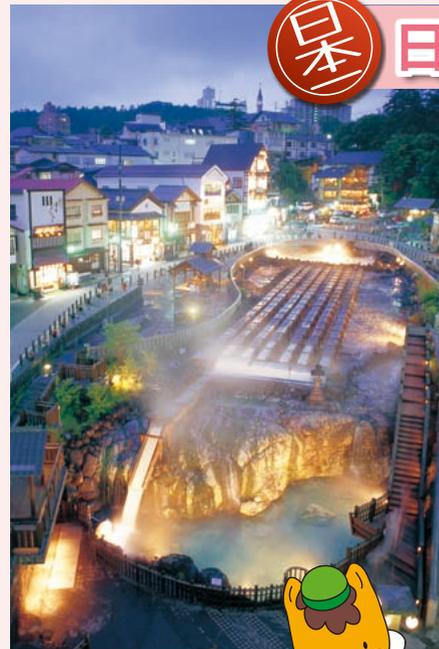
温泉の数だけ
まんじゅうあり!!?
これはほんの一部だよ!

日本を代表する温泉大国

群馬県にある温泉地の数は100カ所以上!
草津、伊香保、水上や四万の四大温泉に、
1,000年以上の歴史を持つ古湯、
秘湯や高原、川で楽しめる温泉など、
個性豊かな温泉地がたくさんあるのが自慢です。



日本 日本の名湯「草津温泉」



草津温泉の湯畑

草津温泉は、湧出量が毎分32tを誇る自噴湧出量日本一の温泉。「日本三名泉」、「日本三大薬湯」にも数えられる名湯で、現在も「につぼんの温泉100選」(観光経済新聞社主催)で10年連続(平成24年現在)で1位と高い評価を得ています。

平成22年には、伝えたいこのかおり、残したいこの風景として、湯畑の湯けむりが「かおり風景100選」に選ばれました。

江戸時代から西の有馬温泉とともに温泉番付で常に最高位にランク付けられた由緒ある温泉地だよ。

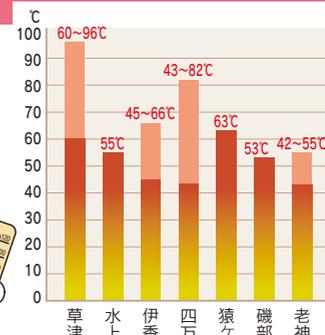
江戸時代の温泉番付

	東	番付	西
上州	草津の湯(群馬)	大関	有馬の湯(兵庫)
野州	那須の湯(栃木)	関脇	城之崎の湯(兵庫)
秋田	小鹿嶋の湯(秋田)	小结	道後の湯(愛媛)
上州	伊香保の湯(群馬)	前頭1	山中の湯(石川)

群馬の湯は温度が高い

群馬の主要な温泉地は、90℃以上の源泉を持つ草津温泉を筆頭に、42℃以上の高温の温泉が多いのも特徴です。

県内で最も温度の高い草津温泉では、水で薄めずに湯畑を経由させて自然に冷ますことで、泉質を保っています。





「温泉マーク♨」の発祥「磯部温泉」

地図でおなじみの温泉マーク「♨」。このマークは、万治4年(1661)に江戸幕府から出された農民の土地争いに対する評決文中の絵図に、磯部温泉を表す記号として2つ描かれていました。

調査の結果、この記号は温泉を表す記号として日本で使われた最古のものだと判明。こうして磯部温泉は温泉マーク発祥の地となりました。



最古の温泉マークが描かれた絵図

温泉の数は関東一！

日本全国の温泉地の数は3,185カ所。そのうち群馬県には105カ所あり、全国9位、関東では1位なのです。温泉施設の数でも、全国21,954カ所のうち群馬県には897施設(宿泊施設612・公衆浴場285)あり全国6位、関東1位です。

※環境省自然環境局調べ(平成22年度)



群馬には11種類ある泉質のうち9種類があるんだよ。



温泉まんじゅうの元祖「伊香保温泉」

全国各地の温泉地で販売されている「温泉まんじゅう」。実は伊香保温泉が元祖といわれています。

明治43年(1910)に伊香保の菓子舗で試行錯誤して完成させたのが、源泉「黄金の湯」の色をイメージした「湯の花まんじゅう」でした。その後、昭和9年(1934)に行幸された昭和天皇が、そのまんじゅうを大量に買い求められて評判となり、全国の温泉地に広がりました。



伊香保露天風呂「黄金の湯」と湯の花まんじゅう

温泉の色だから「温泉まんじゅう」なんだね。



武将伝説と四大温泉

●草津温泉と源頼朝

浅間山での養狩の際に発見したといい、頼朝が腰掛けた石に由来する「御座の湯」や頼朝を祀った「頼朝宮」に名残をとどめる。他に、日本武尊、行基の開湯伝説がある。

●伊香保温泉と武田勝頼

伊香保名物の石段街は、長篠の戦で敗れた勝頼が、負傷兵の治療のために、源泉を効率よく配給できるように作らせたという。

●四万温泉と真田昌幸

戦国武将の真田昌幸(幸村の父)が、戦乱で荒れた道路や橋を直し、田村彦左衛門を湯守に任命して湯治場として整備したという。

●水上温泉郷と日本武尊

東国征伐の途中、武尊山付近で病に倒れた日本武尊が、白い鷹に導かれて発見したという温泉。その湯につかると病が治った。現在の宝川温泉。

著名人が愛した名湯「伊香保温泉」

竹久夢二《1884-1934(画家)》

明治・大正期に一世を風靡した画家。明治44年、少女からもらったファンレターで伊香保を知った夢二は、昭和5年、榛名湖と榛名富士の美しい姿が臨める場所にアトリエを完成させましたが、病により昭和9年に永眠しました。

徳富蘆花《1868-1927(作家)》

名作『不如帰』は彼がこよなく愛した伊香保が舞台です。晩年「いま一度伊香保に行きたい」と切望、病をおして来県しました。伊香保で終焉を迎えたときの家は、現在、徳富蘆花記念文学館となり、保存されています。



竹久夢二



徳富蘆花